

2025年5月23日護王神社～相国寺付近で観察した野草

作：岡田 弘

ヒナキキョウソウ（雛桔梗草）キキョウ科キキョウ属＊花期＝5～8月

名前の由来＝桔梗に似た花で小さいから「ヒナ」。花言葉＝明るい・陽気

本種は北米原産です、ヒナギキョウは在来種でヒナギキョウ属ですので別種です、

＊ヒナキキョウソウ＝葉は卵形で低い鋸歯がある、基部では心臓形になるが茎を抱かない

花卉が細く星形に全開、花茎は分枝しない。茎の中ほどに閉鎖花多い、1年草帰化植物

＊ヒナギキョウ＝葉は2～4センチへら形で倒披針形、縁は全縁か波状の鋸歯がある、花柄が枝分かれする、花卉がやや幅広い、多年草、在来種

類似した花にキキョウソウがある、茎の途中の葉腋から2～3個花を横向きに付ける着けるので見分けやすい。

今回、御所の周りの溝の中や道端に多く咲いていたのは、すべてヒナキキョウソウでした。



ツメグサ（爪草）ナデシコ科ツメクサ属＊花期＝4～9月

名前の由来＝細くて曲がっている葉を、鳥の爪に見・立てて付けられた。

日本全国の公園、道端、アスファルト隙間など、この草の生命力には驚かします、

在来種です、茎は基部で良く分枝して地表を這い先端は斜上する、花は4mmほどの

白色の5弁花、仲間にはオツメクサ・キヌイトツメクサ・ハマツメクサ＊花言葉＝小さな爪跡



フッキソウ（富貴草）ナデシコ科フッキソウ属＊花期＝4～5月

名前の由来＝常緑の葉を茂らせる様子から、富が増して減ることが無いという意味でついた。

＊花言葉＝吉事・良き門出・祝意。日本全土の山野に分布、常緑性低木で高さ15～20cm

の在来種です、名前に草（そう）と付いているように園芸上は常緑草として扱われている、枝は

地表を這うように広がり途中で斜めに立ち上がり葉を広げる、艶のある濃い緑色の常緑が名前の由来に

縁はゆるやかな鋸歯があり放射状に広がった姿が美しい、庭などには縁起が良い植物として植えられる。



チチコグサ（父子草）キク科ハハコグサ属＊花期＝5～10月

名前の由来＝先にハハコグサの名前があり、分類する中で大型で黄色の派手な目立つハハコグサ

に対して、地味な茶色の花で目立たない同じ属だから、派手な母に対し地味な父にしようと言う

発想から名が後付けされた。＊花言葉＝父の愛情

日本全国に分布して5～6月頃にかけて茶色の小さな花を咲かせます、葉の裏側は綿毛で覆われて

白っぽい、葉は長く先が尖っているのが特徴、同じ仲間に帰化植物の、チチコグサモドキ・タチ

チチコグサ・エダウチチチコグサ・ウラジロチチコグサ・ウスベニチチコグサ等多くある。



ハハコグサ（母子草）キク科ハハコグサ属＊花期＝5～6月

名前の由来＝諸説ある①全体に白い毛で覆われています、このことを昔は「ほうけ立つ」と言

い、これが転じてハハコグサになったの説、②全体に白い毛で覆われていて、茎の上に多数の

花を付けます、この花を白い綿毛が生えた茎が支えているように見えることから、母が子を優

しく包む様だとみて『母子草となつた説 ③昔ハハコグサは「母子餅」と呼ばれていた草餅の

材料とされていた、このことからハハコグサと言う名になった説 ④ハハコグサを団子として

食べたことから「葉つこ草」と呼ばれていて、これが転じてハハコグサになった説。

＊花言葉＝無償の愛・忘れない・いつも想っています。草餅と言えば昔はハハコグサであつた

現在のヨモギに変わったのは、母と子を潰すのは縁起が悪いと、又、色が薄いことから色の濃いヨモギに変わった、薬効としては花

が咲いている時全草を乾燥させお茶として服用、鼠麴草（そきくそう）碩止めや内臓に効くとして利用された、漢方には無



マメグンバイナズナ（豆軍配薺）アブラナ科マメグンバイナズナ属＊花期＝5～6月

名前の由来＝マメは小さい、グンバイは相撲で使う軍配に種子の形状が似ている、ナズナは種子が

ナズナと形状が似ているから。「ナズナ」とは？①撫でていつくしむ草の意味で「撫で菜」が転じて

ナズナになった説。②夏になると枯れることから「夏無（なつな）」。

③苗が地について縮まっていることから「滞む（なずむ）」が変化し「ナズナ」になった説。ナズナは春の七草の一つとして食べ

られているが、グンバイナズナは成長すると根生葉は枯れてなくなる。食用には不向き、北アメリカ

原産で明治時代に帰化し今では、日本全国に分布している、葉は互生、長楕円形で光沢がある、縁には鋸歯がある、茎は初めは1

本が真っ直ぐ伸びているが開花時期になると枝先で多く分枝する。＊花言葉＝頑張る。＊この属の仲間は16種類もある。



過去に紹介済で多く観られた植物・オッタチカタバミ・マンネングサ・ムラサキカタバミ・ハルジオン

セッカニワゼキショウ・ニワゼキショウ・ツユグサ・カモジグサ・イヌムギ、ヤブガラシ、等々多数。